

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	特色ある教育モデル推進事業			事業番号	09-102
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	教育部学校教育担当	宮林 英樹	教育指導課	石渡 誠一	

計 画 (Plan)

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち	
		基本政策	3	人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり	
		施策展開の方向	1	子どもの生きる力をはぐくむまちをつくる	
		施策	9	きめ細やかな教育の推進	
予算事業名	特色ある教育モデル推進事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務    (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成25年度	～	終了年度	平成30年度
関連法令等	学習指導要領				
国・県の計画等	-			計画期間	-
関連個別計画	伊勢原市教育振興基本計画(後期)			計画期間	平成25年度～平成29年度
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	グローバル化社会をたくましく生きる力を育むため、それに必要とされるコミュニケーション能力や、郷土を知り、郷土を愛する心を育む教育へのニーズが高まっています。				
目的 (何をどうしたいのか)	本市の豊かな自然や伝統文化を生かした教育活動やICT機器の利活用、外国語活動の充実により、郷土への理解を深め、豊かな心を育むとともに、グローバル時代に対応した児童の育成を図ります。				
主な対象 (誰・何を対象に)	小学校児童				
事業内容 (手段、手法など)	・特色ある教育モデル校を指定し、豊かな自然と伝統文化などを教材とした体験活動や外国語活動及び外国の学校との交流活動など、特色ある授業を実施します。				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	外国語活動の充実	継続実施	継続実施		
	ICT機器(タブレットPC等)の配備	継続実施	継続実施		
	自然や伝統文化を活かした教育活動	継続実施	継続実施		
事業の検証及び情報発信	継続実施	継続実施			
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	各学級におけるALTの年間配置回数	1年～4年 35回 5年、6年 53回	1年～4年 35回 5年、6年 53回	1年～4年 35回 5年、6年 53回	

 事業実施(Do)へ

## 事業実施 (D○)

<b>事業の「取組方針」</b> (前年度事務事業評価)	大山小学校での特色ある取組を市内小中学校で共有できるように、まとめていきます。担当者の会議等で情報を共有していくとともに、今後の見通しを示しながら研究を深められるようにしていきます。		
<b>実施方法</b> 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> すべて直接実施 <input checked="" type="radio"/> 左記以外		
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<b>委託先又は指定管理者</b> 株式会社インタラック関東南
	<input type="checkbox"/> 補助金		<b>補助先</b>
	<input type="checkbox"/> その他		<b>具体的内容</b>
<b>実施結果</b>	<b>項目</b>	<b>年度</b>	
		<b>28年度</b>	<b>29年度</b>
	外国語活動の充実	継続実施	継続実施
	ICT機器(タブレットPC等)の配備	継続実施	継続実施
	自然や伝統文化を活かした教育活動	継続実施	継続実施
	事業の検証及び情報発信	継続実施	継続実施
<b>実施した取組の内容</b>	外国語活動及び英語科の全授業に外国語指導助手(ALT)を配置するとともに、英語科専科教員を配置し、専門性を活かした指導を行いました。おおやま英語プランを作成し、目標や評価規準を新学習指導要領に合わせて修正しました。タブレット端末を16台配置し、普通教室におけるICTの活用を推進しました。		
<b>目標の達成状況</b>	<b>【指標名】</b>	<b>【現状】</b>	<b>年度</b>
			<b>28年度</b>
			<b>29年度</b>
	各学級におけるALTの年間配置回数	1年～4年 35回 5年、6年 53回	1年～4年 35回 5年、6年 53回

コスト	年度		28年度 実績				29年度 実績				
	<b>事業費合計 (a)</b>			2,781	千円		2,975	千円			
内訳	国県支出金 ①			0	千円		0	千円			
	地方債 ②			0	千円		0	千円			
	その他特財 ③			0	千円		0	千円			
	一般財源 (a)-①-②-③			2,781	千円		2,975	千円			
<b>国県支出金の内容</b>											
その他特財の内容	受益者負担		<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		<b>前回の改定時期</b>						
	その他										
人件費	正規職員		0.18	人	1,557	千円	0.18	人	1,571	千円	
	その他の職員		0.00	人	0	千円	0.00	人	0	千円	
	<b>人件費合計 (b)</b>		0.18	人	1,557	千円	0.18	人	1,571	千円	
<b>トータルコスト (a)+(b)</b>				4,338	千円		4,546	千円			
単位当たりコスト	対象数	定義	市内小学校児童				単位	市内小学校児童			
		対象数	5,033	人		4,970	人				
	総事業費／対象数		862	円		915	円				

↓ 評価 (Check)へ

**評 価 (Check)**

<b>進捗状況</b> [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記 判断理由	事業の3本柱となる、外国語教育、自然・伝統文化の学習、ICTの活用において、計画通りに実施することができました。
<b>実施水準</b> [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	A	他都 市的事業 内容等	外国語教育の低学年からの実施及び高学年における教科としての取組や、1クラス当たり児童1人に1台のタブレット端末の配備は、近隣他市町村の中でも高い水準となっています。
<b>有効性</b> [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記 判断理由	英語科専科教員やALTの配置による外国語活動や外国語科の学習を通して、積極的に英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする態度が育っています。また、大山小での実践例を担当者会等で積極的に発信し、他の学校の参考となっています。
<b>効率性</b> [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である(C)	A	左記 判断理由	おおやま英語プランを作成し、目標や評価規準を平成32年度より全面実施となる小学校学習指導要領の内容に合わせて修正することで、市内他の小学校においても活用することができます。


 取組の改善 (Action)へ

**取組内容の改善 (Action)**

<b>事業推進上の課題</b>	平成32年度の新学習指導要領の実施により、他の小学校でも3、4年生の外国語活動と5、6年生の外国語科が行われるため、大山小学校として、どのように特色を出していくか、見通しを立て、それを学校にも示しながら事業を推進していく必要があります。
<b>次年度以降の取組の方向性</b>	大山小学校での取組について、市内小中学校で共有できるように発信します。特に、外国語活動と外国語科の授業について、公開授業を行い、担任がどのように授業に関わるか、効果的な授業の進め方などについて、研究を深めます。
<b>所管部長による総評</b>	これまでの取組を通して、3つの取組を柱として、事業の推進を図り、その成果が現れてきています。学校では、教職員が熱心に授業研究に取り組み、英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする児童の姿が見られ、担任も積極的に授業に関わっています。今後の見通しについて、大山としての特色を大切にしながら検討し、事業を推進していく必要があります。